



岐阜県鉱工業指数 (平成20年4月分)

生産指数 前月比1.3%の上昇

1 概況

平成20年4月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数で見ると、窯業・土石製品工業、一般機械工業等が低下したものの、電気機械工業、輸送機械工業等が上昇したため、前月に比べ生産指数は1.3%増と上昇に転じた。また、出荷指数も0.3%増と上昇に転じ、在庫指数は2.2%増と3カ月ぶりに上昇した。

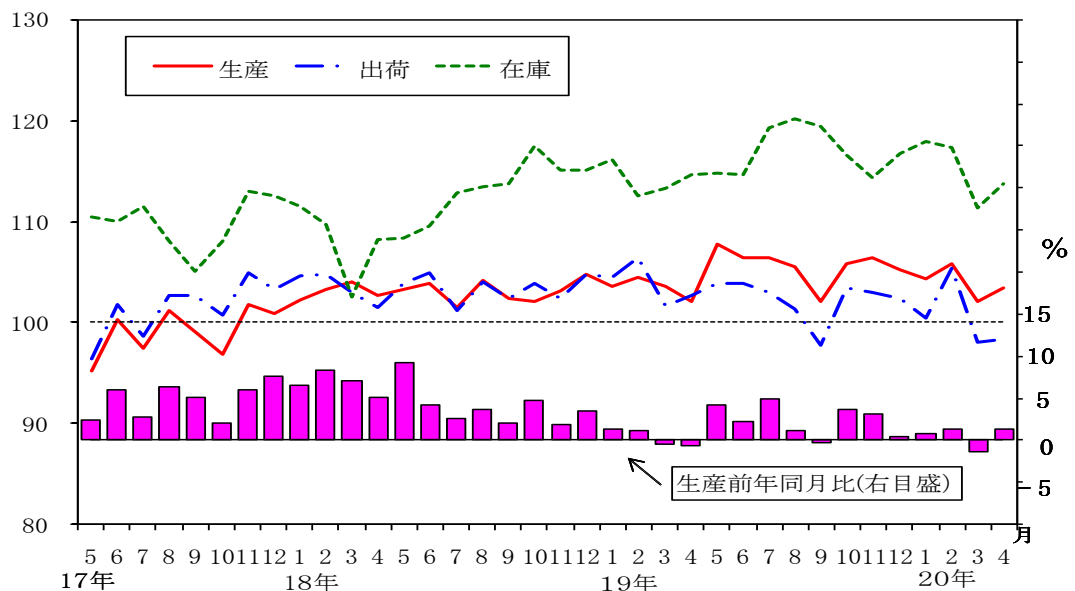
なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は1.4%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。

(平成12年=100)

区 分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	103.4	1.3	102.4	1.4
出 荷	98.3	0.3	98.7	△ 4.2
在 庫	113.7	2.2	111.1	△ 0.8

鉱工業指数の推移

(平成12年=100)



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。

原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、架線金物、カミソリ等が減少したものの、ボルト・ナット、アルミサッシ等が増加したため、5.9%増と上昇に転じた。また、出荷も4.4%増と3カ月ぶりに上昇し、在庫も3.4%増と3ヶ月連続で上昇した。

機械工業の生産は、旋盤、乗用車ボデー等が減少したものの、携帯電話、懸架制動装置部品（ショックアブソーバ）等が増加したため、2.0%増と上昇に転じた。また、出荷は1.1%減と前月に引き続き低下し、在庫は0.5%減と3カ月連続で低下した。

窯業・土石製品工業の生産は、特殊炭素製品、研削砥石等が増加したものの、ファインセラミックス、陶磁器製タイル等が減少したため、2.8%減と低下に転じた。また、出荷は横ばいで、在庫は1.0%増と前月に引き続き上昇した。

プラスチック製品工業の生産は、プラスチック製機械器具部品、プラスチック製品継手が増加したものの、プラスチック製フィルム、プラスチック製容器等が減少したため、2.0%減と前月に引き続き低下した。また、出荷も2.3%減と前月に引き続き低下し、在庫は3.8%増と5カ月ぶりに上昇した。

繊維工業の生産は、羽毛・羽根ふとん、ニット生地染色整理等が減少したものの、不織布、ニット製靴下等が増加したため、0.2%増と3カ月ぶりに上昇した。また、出荷は1.5%減と前月に引き続き低下し、在庫も2.6%減と6カ月連続で低下した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成12年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	117.4	5.9	10.3	111.5	4.4	7.6	64.0	3.4	0.6
機械工業	117.9	2.0	0.9	116.3	△ 1.1	△ 5.3	180.4	△ 0.5	2.8
一般機械工業	132.0	△ 1.6	1.5	130.2	△ 1.7	0.2	-	-	-
電気機械工業	76.8	10.8	△ 2.2	81.1	△ 0.9	△ 18.5	-	-	-
輸送機械工業	151.2	5.4	2.3	154.7	5.0	2.6	-	-	-
窯業・土石製品工業	100.9	△ 2.8	2.0	88.0	0.0	△ 11.8	109.1	1.0	9.0
プラスチック製品工業	95.3	△ 2.0	△ 4.3	96.0	△ 2.3	4.4	104.6	3.8	2.9
繊維工業	56.0	0.2	△ 4.7	47.1	△ 1.5	△ 10.6	41.0	△ 2.6	△ 16.2

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数 (季節調整済、平成12年=100)

